

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
令和6年度第13回理事会報告

- 日 時：令和7年2月13日(木) 13:00—17:05
○場 所：JSOSビル3F会議室4 及びZoom
○出席者：蛭田会長、古賀・吉田各副会長、小野寺専務理事、赤尾事務局長、野村・町田各常務理事、小高・小田部・佐藤・島田・中島・中橋・西谷・畑中・前田・望月・安井各理事 以上18名
佐久間監事、古屋監事 以上2名
○欠 席：栗田・杉本・濱田・樋口・平田各理事 以上5名

1. 開 会

2. 蛭田会長からの挨拶

理事の皆様、全国理事長会議は、お疲れ様でした。今後、ジャパンカップと、スキーモが控えていますが、資金確保を含めて審議ができればと思います。よろしくをお願いします。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時23名中18名出席(定款第33条、定足数=12名(1/2超))
監事数 2名出席

4. 議長選出

蛭田会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号 議事録の承認について(前回第12回の議事録について)
全員承認済となった。

議案第2号 常勤役員の賞与のプロセスについて(報告)

赤尾事務局長が、内規に基づいて実施している賞与支給承認プロセスの現状説明をした。従来メールでおこなっていたが、回議書を使用した手順となっており、昨年12月に支給された金額についても、令和6年度の予算に盛り込まれている旨、補足説明した。

事務局の人員体制については、担当者と担当業務を随時報告する。

賞与の制度設計については、別途明確にしていく。

議案第3号 審判員等の待遇改善について

当提案は、SC部内で未協議なので取り下げとなり、技術委員会で協議することになった。

議案第4号 審判員資格の承認について

ガバナンス委員会直下の資格審査会が審査となっているが、審判員各自の評価自体は、技術委員会であらかじめ審査、認定をすることが必要である。

今後は、常務理事会で承認し、理事会報告という内容で規程に追加することになった。尚、今回提示された審判員は異議なく承認された。

議案第5号 海外登山奨励金（後期）について

小野寺専務理事が、配布資料を基に申請してきた三隊の概要を説明した。

一隊（増本隊：パキスタン、コズ・サール）のみを海外登山奨励金選考委員会が推薦提案していることを報告し、提案の通り異議なく承認された（40万円）。

反対 0名、棄権 0名、賛成 18名

議案第6号 SC指導員規約改定について

野村常務理事が、配布資料を基に説明し、令和6年度のコーチ3資格

受講条件（コーチ1でもコーチ3を資格取得できる箇所）について、特例措置としてきた尚書き以降を削除し、令和7年から従来の形に変更した旨説明した。異議なく承認された。

反対 0名、棄権 0名、賛成 18名

議案第7号（追加） 業務委託について

現行業務委託が、5月で契約満了になっているので、2月末までに今後の方針を伝達する必要がある。

契約継続を前提とし、既存契約書の内容変更（業務内容、報告内容、契約者を会長へ等）や継続条件を加えることを条件とすることを審議し、以下のように異議なく承認された。

反対 0名、棄権 0名、賛成 18名

契約書の内容は、ガバナンス委員会で検討するが、SC部からの要望も盛り込む（5月末目途で、契約内容を確定）。

他の業務委託者について、本年3月末をもって事務局の業務引き継ぎは終了予定。業務委託料金は変更予定。4月以降は、SC委員会業務（競技、普及、メディア対応）が継続される。

議案第8号（追加） 月報配布方法変更案について

前田理事が、現行の配布先リストから以下のように層別して対応することを提案した。

1. 継続必須（公的機関、メディア） : 115 件
 2. JAC 支部：各宛先に確認 30 件 291 冊
別途確認
 3. 高体連関連：各宛先に確認 44 件 871 冊
高体連事務局を通じ、別途確認
 4. 岳連、協会 35 件 2930 冊
 5. 個人向け（オレンジ分） 339 件 339 冊
- 案内文書添付の上“”送付継続申込書“（期限付き）を送付、返却してもらおう。原則打ち切りだが、賛助会員を除いて希望者に有料で送付。

3月登山月報から、“原則としてXX月から打ち切り、賛助会員を除いて、送付継続希望者へ有料で送付します“というような内容で掲載を開始し、数ヵ月継続する。

案内文書及び、”送付継続申込書“の文面については、前田理事が素案を作成し、全理事に配布して了解を得たうえで、今回の提案内容で実施することとなった。

7. 報 告

報告第1号 月次報告、キャッシュフロー

前日の財務委員会で公表された財務状況（予算管理表、資金状況管理表）の説明を赤尾事務局長が行った。

また、望月理事が、過去の年度末時の正味財産、借入金の変遷を紹介した。2, 3月に事業がかさむため、資金が必要となっていて、これを解決するためには正味財産を増やす必要があると補足説明をした。

資金確保を、どのようにするかは、財務委員会と事務局に一任する案が提案され、異議なく承認された。

反対 0名、 棄権 0名、 賛成 18名

報告第7号 ボルダ―日本代表選手選考について

安井理事が、BJCの結果に基づいた最新の候補者の状況を反映した配布資料を紹介し、当内容が常務理事会で承認された旨報告した。

報告第8号 岩手山プロジェクトについて

小田部理事が、画面で岩手山プロジェクト事業計画を説明した。
当事業実施について常務理事会で承認された旨報告した。

8. その他

1. 蛭田会長からの報告

a. JMSCA フレンドの拡張案について

蛭田会長が、組織基盤強化資金の残金(2,931,306円)内で、自然保護委員会用の拡張、昭文社調査費、スキーモ HP 用の拡張を行うことの提案があり、資金繰り計画上、すでに計上済であることを確認し、異議なく承認された。

b. 4月19日から5月10日まで蛭田会長不在予定。この期間中に、副会長に業務を委任予定。

c. 蛭田会長が登山フェスの提案を説明し、常務理事会で承認された旨報告した。

2. 事務局事務所移転

赤尾事務局長が、移転予定日程を以下のように口頭で説明し、異議なく承認された。

新住所 : 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN-SPORT-OLYMPIC-SQUARE

移転日程 : 2月22日(土)

3. JBS(JMSCA Business School)について

赤尾事務局長が、JBSを、2月に募集要項の公開、3月末までに終了予定で、総額1540万円(税込み)の事業で、組織基盤強化事業の一環として実施予定であることを説明し、特に問題なければ開始することを説明した。

令和7年2月13日

記録 赤尾 浩一

以 上